

# 委員会が“変わる!”

## 2つのテーマで多面的な調査

寄居町議会では2つの常任委員会を設けています。常任委員会の主な役割は、付託された予算案や条例案などの議案の審査ですが、所管する事務に関して調査を行う権限も持っています。この所管事務調査のテーマは、委員会が自主的に設定し行います。

今回、常任委員会では調査テーマを初めて2つ設けました。「複数のテーマとすることで、幅広く調査と研究を進めたい」という考えからです。



建設中の上里スマートICを視察（平成27年7月）

### 各常任委員会の過去5年間の調査・研究テーマ

年度	総務経済常任委員会	文教厚生常任委員会
24年度	観光拠点づくり	町民の健康づくり対策
25年度	土地利用計画	地域支えあい活動
26年度	寄居駅南口周辺整備	学校教育環境の整備
27年度	(仮称)寄居P.AスマートIC周辺の開発	保育サービスの充実・環境整備
28年度	①寄居駅周辺整備 ②防災・減災 (自主防災組織と地域コミュニティ)	①小中一貫教育 ②スポーツ振興 (生涯スポーツと健康づくり)



寄居保育所を視察 園児との給食(平成27年7月)

## 議会だより編集委員会が議会広報広聴へ特別委員会<sup>(\*)</sup>

「伝えること」と「聴くこと」の充実をめざして

議会だより編集委員会は、これまで「議会だより発行に関する協議と調整の場」として規則により設けられていましたが、9月定例会で議会委員会条例を改正、**議会広報広聴特別委員会**となりました。

この委員会の名称は、議会の動きを皆さんにお伝えする議会だよりの発行だけでなく、議会の「聴く力」の充実をめざすことを意味しています。今後、議会モニターなどの広聴活動も委員会で検討していきます。



<sup>(\*)</sup> 特別委員会…特定の事項について、詳しく調査するため、必要に応じて設けられる委員会のこと。寄居町議会では、既に三ヶ山地域開発調査特別委員会が設置されています。

### 総務経済常任委員会

#### 自主的な地域共助先進地を視察(鶴ヶ島市)



- ①寄居駅周辺整備
- ②防災・減災  
自主防災組織と地域コミュニティを調査しています

7月21日に委員会を開催。鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会の取り組みを視察しました。

同区内には、約3200世帯7000人が生活。団塊の世代を中心に成長してきたことから、高齢化が進み、高齢者の比率は25%を超えています。

#### 「助け合い隊」を組織

地域支え合い協議会は、10自治会・民生委員・NPO法人・企業・社会福祉協議会等が、ともに支え合う仕組みを目指し、平成23年7月に発足。25年12月にはNPO法人となり、200名を超える会員が、防災委員会・福祉支え合い委員会・子ども委員会・鶴二助け合い隊を組織し、活動しています。



整備された防災備蓄室(鶴ヶ島市)

#### 住民主体で実践

防災委員会では、住民が防災訓練や防災備品の整備など、地域の課題やニーズを考え、主体的に訓練や実践を重ねています。高齢化がさらに進む中、福祉避難所の必要性や災害時要援護者等の災害弱者への対応など、新しい課題の解決に向け、医師会との連携による訓練への医師派遣や講習会を行うなど住民のスキルアップを目指し、積極的な活動を行っています。

協議会では、人に優しく安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して、住民1人ひとりが自立自助の志を強め、互いに助け合う地域共助の形をつくり出し、行政に頼らない新たな地域コミュニティの創造に取り組んでいます。委員会では、引き続き調査研究します。

### 文教厚生常任委員会

#### 施設一体型の一貫教育校を視察(坂戸市)



- ①小中一貫教育
- ②スポーツ振興  
生涯スポーツと健康づくりを調査しています

7月27日の委員会では、施設一体型小中一貫教育校として整備された坂戸市の城山学園を視察しました。

#### 23年度から小中一貫教育

学園の前身は、住宅開発で人口が著しく増えていた昭和48年開校の城山小学校と、52年開校の城山中学校。開校当時、1000名を超えた児童生徒数が、現在は小学生153名、中学生119名と大幅に減少。平成23年度からモデル校として小中一貫教育を行い、27年4月に小学校を中学校の敷地内に移転、城山学園が開校されました。

#### 異年齢交流で社会性を

9年間を見通した教育活動のため、学年を1年生から9年生とし、



小中一貫校は「9年制」(城山学園)

1年生から4年生をI期、5年生から中学1年生である7年生をII期、中学2年生、3年生である8、9年生をIII期とし、指導の内容や体制を工夫。また、入学式や運動会など行事の統一や異年齢交流を通して、児童生徒や教員の交流を積極的に行い、社会性や人間性を育てています。II期から教科担任制を一部導入し、専門性の高い授業とするほか、一部を50分授業にして、基礎・基本を徹底、学力向上に力を入れていきます。また、7年生とすることにより、中学校への接続を滑らかにし、中1ギャップの解消を図っています。開校して1年、新たな課題も検証し、施設一体型のよさを生かして小中の連携を強め、特色ある教育に取り組んでいくとしています。委員会では、引き続き調査研究します。